



## 高齢者福祉の総合デパート

社会福祉法人

ELDERS

2004 JULY

vol.23

## 年長者の里

URL : <http://nenchousha.com> E-mail : [elders@nifty.com](mailto:elders@nifty.com)

発行者
芳賀 晟寿
編集者
企画広報室
住所
北九州市八幡東区大蔵3丁目2-1
TEL (093) 652-3939
FAX (093) 652-3999

## 新入職員辞令交付式

晴れて自立の第1歩であります。就職おめでとう。今まで培ってきた知識と技術をかして社会に確りと貢献して収入(生活の糧)を得ることに成りました。ドイツの有名な社会学者マックスウエバ

ーは、「**職業は天から与えられた使命である**」と言っています。私共は私利私欲を意識することなく、仕事に没頭しています。この働きが社会や経済を発展させる礎になるものです。公共性、公益性、地

域社会・地域福祉への貢献、朽ちることのない使命感が人を動かす原動力であります。私共は仕事に、この使命感をもって取り組んでまいります。



芳賀理事長

## 高齢者福祉の総合デパート

平成12年4月、介護保険制度が始まり措置から契約の時代になりました。措置時代には税金での世界でしたからお上の指示通りでしたが、契約の時代となり利用者がお客様となり介護が「介護サービス」となりました。高齢者福祉をビジネスチャンスと捉え民間企業等が続々と参入してきました。デイサービスやグループホーム、介護付老人ホーム等は企業の進出が特に盛んです。従来福祉事業は社会福祉法人の独占分野でしたが沢山の競争相手が出現しました。年長者の里は50年以上の歴史を有する社会福祉法人であり平成元年にこの大蔵の地に移ってきま

した。以来、一箇所で高齢者福祉事業の全てが揃う「**福祉の総合デパート**」を目指し、整備を進めてきました。15年間かけて入所施設の介護老人ホーム・特養・老健・ケアハウス・グループホーム・生活支援ハウス・通所施設も特養デイサービス・痴呆対応のデイサービス・老健デイケア・訪問系のヘルパー派遣・訪問看護事業等全ゆる高齢者福祉事業を揃えることができました。

## 独自の取り組み

年長者の里では、8年程前から、元気なお年寄りによるお年寄り支援「たすけあいワークス事業」を展開しています。訪問介護事業の隙間を埋める、他に類を見ない大切な

取り組みであります。さらに「いきいき福祉講座」では法人の人材を活用し、「健康講座、食生活、リハビリ等々」毎月一度開催し、地域の高齢者の在宅での生活支援に取り組んできました。更に一昨年、MRIを常備した神経内科のDr.のいるクリニックが開院し、利用者のお年寄りにハード面では万全の構えができました。北九州は勿論、福岡県内でも有数の高齢者福祉事業者として認知されるに至りました。沢山の研修生・実習生を受け入れ、年間延べ3,000人のボランティアの方々にご支援頂いております。外部の風を持ち込んで頂き、活力を頂戴します。今後はソフト面の充実が課題です。皆さんが仲間として加わることでご利用者＝お客様

サービスの向上・ソフト面の充実を是非にお願いいたします。オンブズマン委員会は福岡県内では最初の設置であり、マンネリにならないように、襟を正す好機を与えられています。

## 満足度の向上

介護保険が始まり、契約の時代となり「ご利用者中心」となりました。ご利用者はお客様であります。ご利用者の満足度の向上に励みます。私共は専門性を高め、サービスの質の向上に一層励みます。サービス業の頂点にシティホテル業があります。私共「高齢者福祉事業はホテル業に学べ」であります。地域社会・地域福祉に貢献してまいります。

## 平成15年度 事業運営報告

平成15年4月1日～平成16年3月31日

我が国の高齢化は益々進展しています。北九州市は高齢化率21%と政令都市では最も高くなっています。当法人の拠点であります八幡東区では25%を超え、介護サービスを必要とする方は増え続けています。この様な中、今年度も、当法人は一箇所で高齢者福祉サービスの全てが揃う《福祉サービスの総合デパート》を目指して、ハードとソフトの両面の充実を徹力して参りました。お蔭様で、一昨年開院しました「たつのおとしごクリニック」は地域の皆様に大いにご利用頂き、経営も安定して参りました。医療と福祉の連携が進み「たつのおとしごデイサービス」も少人数の家庭的なサービスの提供が好評です。老健・正寿園、特養・大蔵園など入所施設は全て稼働率が向上し略100%となりました。PT・

OTを配置したデイケアセンターも昨年夏以降は定員を50人に増やし、地域のご要望に応じてきました。〈地域の安心の拠り所〉として、全職員一丸となり力を尽くし、全部門共願調に経営は推移致しました。その結果、総収入1,833百万円、総支出1,588百万円、総合経常資金収支差額245百万円を計上することが出来ました。これは、地域の皆様のご理解とご支援の賜物であります。今後につきましても、ご利用者の自立支援・満足度の向上に努め、役職員の研修・専門性を高め、サービスの質の向上に励みます。平成16年度は特に在宅サービス部門に注力し、地域社会・地域福祉に貢献して参ります。地域の皆様には従来同様にご理解と格別のご支援をお願い申し上げます。



平成16年度 新入職員

年長者グループのモットーである「挨拶・笑顔・敬語」の三つを守り、社会的使命を果たしてまいります。

### わがまちの地域福祉と福祉経営 ④

## ～福祉環境の変化と福祉形成の課題～

秋国際大学 国際情報学部

特任教授 皆川 重 男



### 高齢者福祉の考え方

事業所が行う福祉事業は、社会に存在する福祉ニーズ、特に生活支援サービスを必要とする人々のニーズを充足するために存在していると考えています。行政が公的に決めた福祉政策の基準に従って対象者に対して支援を行う福祉とは性格が異なるものです。少子高齢化が進展する中で、生活支援サービスを必要とする人は、急速に増加し、要望も多様化しています。一方、実際に第一線で働くスタッフも、1987年の社会福祉士や介護福祉士等の資格制度の整備、育成機関の充実から10年を経過し、優れた人材がかなり育ってきています。福祉の現場を見ても、生き生きと業務するスタッフの目は輝きを増しているように感じます。

### 福祉事業経営者の役割

福祉事業における経営管理者の役割は、生活支援サービスに対するニーズを把握し、優秀な福祉スタッフを組織して質の高いサービスとして社会に提供することにあります。そのためには、福祉サービスの受け手と担い手だけでなく、地域社会、行政、医療機関、取引先などの関係者へ総合的な満足を提供するよう配慮しなくてはなりません。そこには、事業主体の営利、

非営利に関係なく、高度な経営管理力が求められています。

### 福祉環境の変化と経営の導入

このような環境の変化により、国も構造改革の一環として、「措置制度」からの脱却を進めています。高齢者福祉については、2000年4月の介護保険制度の施行により措置型の利用方式から利用者の意向を尊重した利用方式に転換しました。利用者は施設や在宅サービスを「契約」に基づいて利用し、行政が介護保険から使用料を助成する支援費支給方法に変わりました。(選択による利用に馴染まないものについては、一部措置制度は残る)原則として、利用者は、自由に事業者を選択できるようになり、事業者は選んでもらえなかったら収入が得られなくなったのです。これは、福祉サービスが公共サービスから一般の商品としてのサービスに転換したことを意味しています。

「商品」というと違和感を感じる福祉関係者も多いようです。商品だからこそニーズとその充足が課題になるし、供給と需要を結節する流通やマーケティングの課題も発生してくるのです。高齢者福祉を「福祉サービス」という商品とする視点で、さらに検討することになります。

## 谷前市長ご夫妻を迎えて

前北九州市市長の谷伍平様が奥様の喜美子様と一緒に年長者の里にお見えになりました。谷様からは、昨年9月、所蔵されている絵画や書19点をご寄贈いただいております。ご利用者の皆様をはじめ多くの方々が鑑賞できるようにと、各施設のロビーやホールに展示することにいたしました。



この日はその視察ということで、ケアハウス八幡の食堂で当日のメニューを試食された後、芳賀理事長の案内により、正寿園、大蔵

園、21世紀館などに展示されている絵画を、施設見学かたがたご覧いただきました。とりわけ喜美子様は、以前「折り紙ボランティア」として正寿園デイケアセンターにお見えになっていたこともあり、懐かしい面持ちで、館内を巡回されていました。

「現役当時はながらのかくしゃくとした前市長と、いつまでも若々しい奥様のツーショット。」梅雨のうっとうしさを振り払うかのような凜とした雰囲気と、さわやかな余韻をいただいた一日でした。



## 第9回 ボランティア感謝の集い

当日の式典には、個人9名、30団体のボランティアの皆様と社会福祉関係者の皆様、約200名の方々にご出席頂きました。来賓には、八幡東区区長の植木様、新日鉄八幡記念病院理事長・院長の佐渡島様、八幡東区社会福祉協議会会長の北山様など、行政・地域の福祉関係の方にお越し頂きました。感謝状贈呈では、個人の部は、生花教室の安増千鶴子様。団体の部は、津軽三味線のぞみ会(小寺かね子代表)様、日本舞踊藤豊会(藤間胡豊代表)様、神田杉の実保育園(岡本エミ子園長)様の3団体に理事長より感謝状と記念品を贈呈いたしました。

懇親会恒例のお楽しみ福引

大会では、豪華な景品の数々に参加された皆様にも大変喜んで頂きました。年長者の里は、ボランティアの皆様により外部の新鮮な風を持ち込んで頂き、入居者の皆様は、元気を頂戴します。職員も気を引き締めることとなります。今後も暖かいご理解とご支援をよろしく願いいたします。

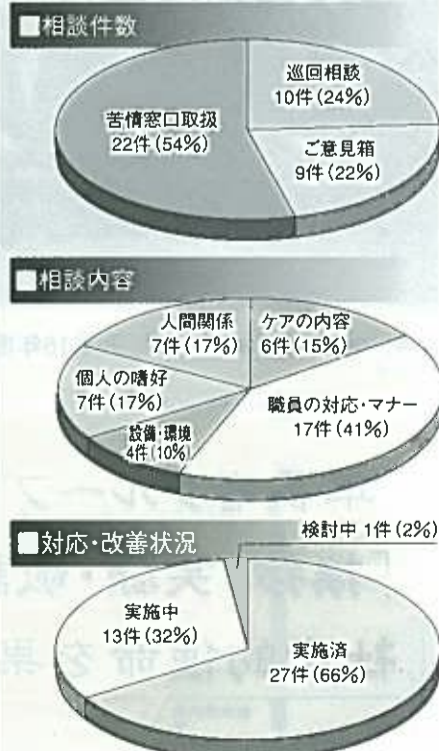


## 年長者の里 福祉オンブズマン委員会 平成15年度 活動概要報告

年長者の里福祉オンブズマン委員会(委員長:江藤澄哉産業医科大学名誉教授)には、平成15年度も各委員による定期的な巡回相談と意見箱を中心に、ご利用者からの要望や意見を幅広く吸収し、法人・施設に対して、提案・提言を行っていただきました。その結果、設備・環境等の改善による成果が得られましたが、他方、職員のマナーや対応等新たな課題も生じています。平成16年度は、サービス向上活動とも連携し、ご利用者の満足向上につながる、より一層の提言と、客観的な評価をお願いいたします。



### 平成15年度相談状況



**ドクターよりひとこと ⑥**

**治療できる痴呆 「慢性硬膜下血腫」**

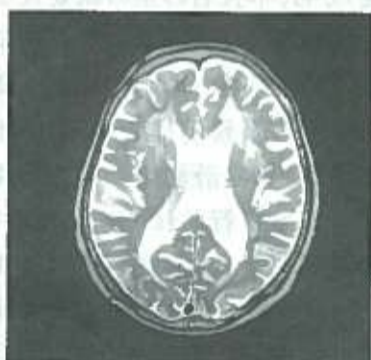
年長者の里 たつのおとしクリニック  
院長 小野 隆 生

一般に「頭の中に出血している。」と聞くと、頭痛や意識障害あるいは、麻痺があるのが普通と考えがちです。しかし、「慢性硬膜下血腫」という病気は、このような激的な症状を伴わずに徐々に進行するため、「歳をとったせいで悪くなった。」と見過ごされないように注意が必要です。頭部打撲などの外傷をきっかけに発病することが多いのですが、頭を打った後、数ヶ月以上も経過して症状が出てくるのがよくあります。ですから、実際に症状が出てくる頃には、家族など周囲の人達

も、転んだり頭を打ったことを覚えていない場合もあります。「ここ数ヶ月で忘れっぽくなった。」「最近、歩き方がおかしい。」等という場合には、この病気の可能性を考える必要があります。「慢性硬膜下血腫」で、何より大切なことは、CTやMRIという画像検査で確実に診断ができ、また、脳を傷つけない比較的簡単な外科治療をすることによって劇的に良くなる病気であることです。気になる症状があるときには、早期に脳の画像診断を受けることが大切です。



▲診断時



▲手術後

**私は今④**

**白寿を迎えて  
思う事……**



藤原鉄一さま(明治二十八年生)

愛媛県生まれ、19歳の時に北九州に来てからずっと八幡で暮らしています。一年半ほど前に妻が亡くなるまでは、夫婦2人で息子たちに見守られデイサービスを利用しながら生活していましたが、70数年連れ添った妻を亡くし、子供達が心配してこちらに入居する事となりました。

当初は、共同生活に慣れず家に戻りたい気持ちで一杯でした。そのたびに、息子、娘が心配で会いに来てくれました。以前、一緒にゲートボールをしていた方が入居されておられたので、話や碁並べなどして気が紛れる事もありました。今は、子供達も高齢になり心配掛けたくない気持ちと、ここでの生活に慣れてきました。毎日が散歩、そ

して頭の体操を職員さんとしています。計算問題や漢字の読み書きなどしています。

まだまだ、若い者には負けていません。ここで職員さんに戦中戦後の話をすると「藤原さんの人生本になりますよ」と言われます。私世代はみな激動の時代に生きてきました。いまの時代では語り継ぐ事が難しいと思うと寂しかったが良かったと思います。私の活力の元は、部屋にある妻の写真と、戦後何も無い時に作った思い出の詰まったタンス。それと、好き嫌いくなく何でも食べることです。

6月で99歳になり、100歳まであと1年をきりました。この里で最年長となれるように毎日、頭と体の体操を欠かさずぼちぼちと行きます。

Improvement project in service

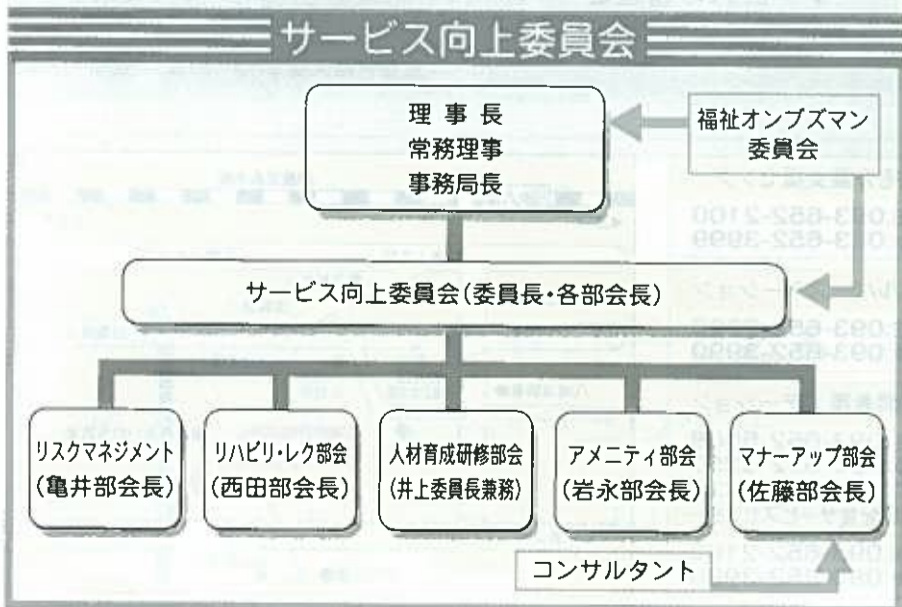
**サービス向上プロジェクト**

平成16年度 委員会編成

2年目を迎えたサービス向上委員会(委員長:井上本部事務局次長)は、昨年の実績と反省をもとに、総合的・一体的な活動ができる体制に再編しました。これまでの「研修」「リハビリ・レク」「アメニティ」の3部会に、平成12年度から実施中のリスクマネジメントと、昨年より外部のコンサルタントを導入し教育を進めているマナーアップ委員会を新たに編入し、5つのプロジェクトとして始動しています。各部会の責任者には、入所・通所・訪問サービ

スの各施設長を充て、更には、法人内の施設・事業所から横断的にスタッフを登用配置し、人材の育成も同時に図りながら、それぞれの部会活動を積極的に推進しています。

すべてのご利用者に満足していただき、安全で快適な生活を送っていただくために、地域の皆様の「安心の拠り所」を目標に、今年度も理事長以下、役職員一丸となってサービスの向上に取り組んでまいります。



**CHALLENGE ~挑戦~**

**夢は独立開業!**

~社会福祉士国家資格取得~

「上達はかけた年数に比例する」と言われているように勉強に費やした時間にかかっています。60歳ともなるとさすがに記憶力が落ちてきたので4月から着手しました。職場で常時使われている専門用語での会話、最新情報が満載されている各種の定期購読誌及び毎月の勉強会は、専門知識・援助の視点・価値観を理解する上で大いに役立ちました。最後に、試験前に同僚からいただいたお守りと合格鉛筆は心強く、また2年間協力してくれた妻にも感謝しています。これから試験に臨む皆さん、一日一日を大事にしてください。

在宅介護支援センター  
村山勝己次長



**掴め日本チャンプ!**

~スーパーバンタムの星~

今からちょうど9年前、知人に「今からでも間に合うからやってみないか」と言われボクシングを始めました。私には無理だと思っていましたが、ジムに入門し、毎日汗を流すうちに「プロボクサー」になるという目標が湧いてきました。辛抱の甲斐あって、27歳でプロテストに合格し、プロデビューを果たしましたが、たまたまデビュー戦に勝利し、味を占めたため、気が付いたらこの世界にどっぷりと浸っていました。現在、戦績は13戦10勝(3KO)3敗。次戦は日本ランカーとの対戦です。このチャンスをつかみ、日本チャンピオンへ挑戦したいと考えています。

大威園デイサービス  
川根由久 介護員



## Special Thanks

ご寄付・ご寄贈・ボランティアの皆様ありがとうございました

### 故 大石前理事長を偲んで

年長者の里前理事長の大石正巳様が去る3月15日、入院先の病院で逝去されました。(享年80歳)

大石前理事長は、父伊太郎氏の急死に伴い、年長者の里(当時八幡養老院)理事長に就任されました。以来、平成元年、年長者の里が当地に移転し、芳賀理事長にバトンを手渡されるまでの約半世紀の長きにわたり、法人運営の中核に携わってこられました。

晩年は、当法人のケアハウスにも一室を設け、リハビリに励まれていましたが、病状の進行とともに、それもかなわず、闘病生活を余儀なくされることとなりました。年長者の里と共に歩んでいただいた四十有余年に思いをはせつつ、大石前理事長のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

### ※ご遺族の中村泰子様より



古野 秀樹 様 三原 照也 様  
小川 秀樹 様 正野 妙子 様  
江本 玲子 様 久家 義見 様

ご寄付・ご寄贈品は、福祉増進のため活用させていただきます。

V r 大 蔵 様 あひる八幡東 様  
ポプリの会 様 折り紙すぎな 様  
チェリークラブ 様 ひまわりグループ 様  
琴生流コダマ会 様 若 葉 会 様  
MYOKI気功 様 響 様  
藤 の 会 様 配食Vrの会 様  
たんぼぼ 様 美萩野女子高 様  
高見地区民協 様 高槻地区民協 様  
大蔵地区民協 様 松川流寿会 様  
若松青年商業会 様 乳山青年会 様  
葉の花ダンスサークル 様 蔵 様  
津軽三味線のぞみ会 様 玉田ヒサ子 様  
高木 禮子 様 安増千鶴子 様  
和田 愛 様 有本 功 様  
刀根 庸子 様 田中須美子 様  
藤村じゅん子 様 入口 雪奈 様  
井上 弘子 様

新鮮な風と元気を、これからもお届けください。

## HOSPITALITY ようこそ年長者の里へ

### 広島市老人福祉施設連盟様

—理事長・施設長研修—



広島市老人福祉施設連盟(碓井法明会長)より碓井会長はじめ、理事長・施設長の皆様(20名)が研修のため来会されました。法人内の全施設を視察された後、芳賀理事長((社)北九州高齢者福祉事業協会会長)から、年長者の里の概要及び北九州高福協の設立に至る経緯について説明がありました。続いて、高福協の古石事務局長より平成16年度の子算・事業計画等に関する説明が合わせて行われました。また、民間企業の動向として、(株)エルダーサービスの芳賀祥泰社長から同社の経営戦略と事業展開が紹介され、同じ政令市として、今後激しさを増す高齢者サービスについて活発な質疑や意見交換が行われました。

### NTT北九州地区 ユーザー協会様

—施設見学・16年度理事会開催—



(財)NTT北九州地区ユーザー協会(芳賀歳寿会長)の平成16年度理事会が、年長者の里本部あじさいホールを会場に行われました。当日は、行橋、田川、直方、豊前の各商工会議所の会頭・専務理事をはじめ、協会役員の方々16名がお見えになり、理事会の開催に先立ち、法人の各施設・事業所を見学していただきました。介護保険・介護ビジネスへの関心が高まりつつある現在、様々な業種、業界の方々との交流を通して、高齢者サービスの現状を理解し、認識していただくことは、大変重要です。これからもこのような機会を設けて、違った角度から私たちが提供しているサービスを評価していただきたいと思っています。

## 介護のご相談は年長者の里在宅介護支援センターへどうぞ

ケアプランセンターは、4月より堀田新所長のもとでのスタートとなりました。業務運営は、所長を中心に“公平・思いやり・風通しの良い職場”をモットーに行われています。当センターは、ケアマネ総勢15名という大世帯の中、医療系・福祉系の専門職がお互いに補完し、また豊富な職歴・経験によりマルチ支援ができることが強みです。

今年度の目標は、より多くのご利用者様に満足して頂くように、

1. 本人・家族の意向に沿ったサービスをより多く提供できる“ケアパッケージ”の提供

2. 内部・外部への研修に参加し、資質の向上を図り信頼されるケアマネを目指します。

3. 福祉ニーズがありながら、ひっそりと生活しておられる高齢者を医療・福祉・公的機関との連携を図ることにより、「待ち」から「発見」へと脱皮します。

上記のように、「ケアマネジメントの質の向上及び体制の確立」を目指してまいります。

**652-2100**  
(24時間ホットライン)

### サービスを利用する時には…

まずはご相談ください

ご自宅へ訪問します

ケアプランを作成します

あなたの同意を得ます

サービスを開始します

サービスの管理と  
ケアプランを見直します

### 平成16年度新体制 ～法人幹部～

理 事 長	芳賀 歳寿
常務理事兼ケアハウス八幡施設長	芳賀 祥泰
老健・正寿園施設管理者兼 たつのおとしごクリニック院長	小野 隆生
本 部 事 務 局 長	石出 勝久
本部事務局次長兼企画室長	井上 信治
本 部 事 務 局 次 長	大竹 一視
特 養 ・ 大 蔵 園 施 設 長	佐藤 幸子
ヘルパーステーション所長	岩永 一彦
正寿園デイケアセンター所長	西田 公子
養 護 ・ 西 峰 園 施 設 長	小田 周三
老健・正寿園副施設管理者	亀井 郁子
在宅介護支援センター所長	堀田 久美

### 施設・事業所 電話/FAX一覧表

社会福祉法人 年長者の里本部  
Tel:093-652-3939  
Fax:093-652-3999

介護老人保健施設 正寿園  
Tel:093-652-3911  
Fax:093-652-2399

介護老人福祉施設 大蔵園  
Tel:093-652-6492  
Fax:093-652-6495

ケアハウス八幡  
Tel:093-652-3939  
Fax:093-652-3999

養護老人ホーム 西峰園  
Tel:093-652-6484  
Fax:093-652-6486

生活支援ハウス八幡  
Tel:093-652-5590  
Fax:093-652-2580

グループホーム八幡  
Tel:093-652-6800  
Fax:093-652-2530

たつのおとしごクリニック  
Tel:093-652-5210  
Fax:093-652-5250

たつのおとしごサービスセンター  
Tel:093-652-3945  
Fax:093-652-3943

大蔵園デイサービスセンター  
Tel:093-652-2200  
Fax:093-652-2200

正寿園デイケアセンター  
Tel:093-652-2348  
Fax:093-652-2399

在宅介護支援センター  
Tel:093-652-2100  
Fax:093-652-3999

ヘルパーステーション  
Tel:093-652-2388  
Fax:093-652-3990

訪問看護ステーション  
Tel:093-652-5508  
Fax:093-652-5250

地域配食サービスセンター  
Tel:093-652-2100  
Fax:093-652-3999

